

若浜の子ども



令和6年10月30日 第5号

「全力を楽しむ」ことで新しい世界が見えてきた ～「ほんとうのかっこよさ」を見つけた運動会活動～

「差がひらいても、あきらめずに総合優勝を信じて走り続けた仲間たちがかっこよすぎました」6年生の子どもたちがふり返って表した言葉です。

「全力を楽しもう」という運動会スローガンに向かって、ひたむきに、そして、全力で行動する子どもたちの姿には、「本当のかっこよさ」がたくさん表れていました。それは容姿などの表面上のきれいさではなく、人の心を動かすようなレベルの高い美しい行動です。「全力を出しきり、全力を楽しんだ」からこそ気づけた「本当のかっこよさ」に気づいてくれたのだと思います。この運動会を実施してよかったと思っています。



【子どもたちが見つけた運動会活動を通した「かっこいい生き方」】

- ◇「本気になる楽しさ」に気づかせてくれた とてもよいスローガンでした。実行委員の皆さんのアイデアがすごい。
- ◇1年～4年生の本気で全力の応援のおかげで、あきらめずにがんばる気持ちになれた。
- ◇応援の勢いを確かなものにするために、休み時間も、打ち合わせや声をかけ合って練習する姿
- ◇結果がうまくいかなくても上級生が責任をもつ気持ち・人のせいにしない気持ちがかっこいい。
- ◇「なかよし種目」「全員リレー」での走る力を補い合いながら、チーム全体でがんばろうとする姿
- ◇あいさつ、返事、廊下歩行、素早い整列など、日常生活のマナーや秩序正しさにつなげる姿



下級生応援団のおかげで、パワーが高まります。



あきらめないことも全力を出すことの一つです。



1年生のペースに合わせてあげます。



チーム全員の心を一つにすると、
すごい力を出せる。



👉運動会で学んだ「全力」をふだん
の学習でも生かします。

運動会が終わっても、ルールのある生活につなげます。👉



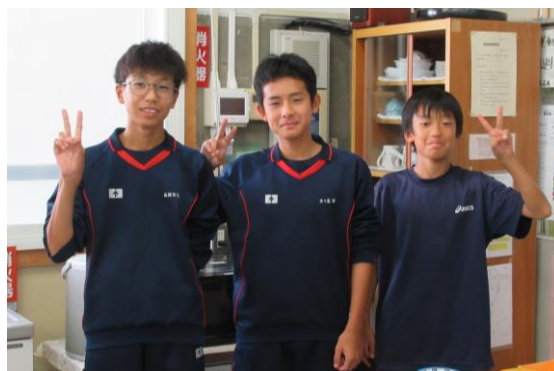
二中生の皆さんが学校職場体験に来てくれました

小学校で働くことの楽しさ・難しさを味わうために、子どもたちの先輩にあたる第二中学校二年生の3名の皆さんが2日間訪れました。先生という仕事、人に向き合う仕事に興味を持つことだけでも素晴らしいことです。3人とも「よろしくお願いします。教えることの楽しさと難しさを味わいにきました。」とりっぱなあいさつとともに、小学生からあこがられる姿や態度を示してくれました。

「若浜小の先生方のように、子どもたちのよいところを見つけられるようにがんばりたい」「人の前に立つことを意識して、自分を高め続けたいです」という感想を残してくれて、学校側も励まされました。



休み時間もいっしょに遊んでくれました。



りっぱな態度を見せてくれました。



いっしょに過ごしたクラスの子どもたちと